

令和6年11月15日

大阪府立柴島高等学校 第2回 学校運営協議会 議事録

1 会議日時 令和6年11月15日(金) 14:00~16:00

2 開催場所 大阪府立柴島高等学校 校長室及び各教室

3 委員

	名前	資格	所属	出欠
会長	森田 英嗣	学識経験者	大阪教育大学 教授	○
副会長	山本 了照	地域の関係者	大阪市立淡路中学校 校長	○
委員	表西 貴文	地域の関係者	大阪市新大阪人権協会 評議員	×
委員	三木 幸美	学校運営に資する活動を行う者	とよなか国際交流協会 事業主任	○
委員	坂本 浩子	その他の関係者	大阪府立柴島高等学校後援会 会計	×
委員	坂元 直美	保護者	大阪府立柴島高等学校PTA 会長	○

4 事務局(学校側)

小畑 龍業(教頭) 三輪 真嗣(首席) 内田 清彦(首席) 中川 智子(人権教育主担)
時安 希未子(人権教育副主担) 堀 博俊(事務長) 森田 正良(校長)

5 次第

- 会長あいさつ
- 校長あいさつ
- 授業発表会動画視聴
- 授業見学
- 協議

6 協議の概要

○授業発表会動画についての質疑応答

事務局) この動画は、毎年、後期の最初に生徒に見せている。生徒からは科目選択の前に見たかったという声もある。

校長) 前年度のものでよければ、選択の前に見せることも考えられる。

会長) 動画は誰が作っているのか?

事務局) 生徒が作っているものもあるし、教員が作っているものもある。

会長) 動画に入っているナレーションはAIを使っているのか。

事務局) AIを使っているものも多い。

○授業見学のふりかえり

委員) 様々な授業があったが、いずれも本物に触れることができている。受ける側も本気で取組まないといけないという空気がある。そういう場の空気感がつくられていると感じた。授業内容については生徒からの要望を採用することもあるのか？

事務局) 例えば、自立支援コースの「作業学習」については、コース以外の生徒からも「やってみよう」という声があり、必要な生徒がライフスキルを身につけられるよう、他の生徒も選択できる方向で検討している。

委員) 授業を組立てるのも大変だと思う。生徒のニーズと内容がマッチしていることが望ましい。年度毎にフィードバックがあればよいと思う。

校長) 現在行われている授業はある程度定着しているが、各担当者はリサーチしながら授業を組立てているはず。特色ある授業というのはどうしても属人的にならざるを得ないところも多いが、一応誰が担当になってもできるような基本的なプログラムは継承されている。そこに生徒の声や実態をフィードバックすることでブラッシュアップされているのだと思う。

会長) いつもながら実学的で様々な体験的な取組が行われていると感じた。自分が高校生のときは殆ど選択の余地がなかった。柴島高校は総合学科なので、特に選択の幅が広い。柴島高校を卒業したといっても、カリキュラムや学んできたことは様々なので、それぞれが自分の物語を作っていくことが大切だ。自分の学びを語ることができれば素晴らしい。

委員) 生徒のニーズにすべて応えることは不可能だと思うが、單元ごとにアンケートをとるなど、工夫できることはあるのではないか。選択科目については、生徒が自分で選んでいるため、一生懸命取り組んでいる姿があった。必修科目になるとまた雰囲気は違うのかもしれない。また、校内の施設が古いと感じた。大阪市の中学校は施設にとってもお金をかけている。一方で、校内に生徒の作品が至る所に飾られている。これはとても大切なことだ。

委員) 保護者の立場から見学させてもらった。生徒は自分で選ぶので、芸術系の授業など、みなさんがとても上手だと思った。どの授業も自分の経験値として次につながると思う。経験しているのとしていないのとでは大違い。自分の力、強みに変えていってもらいたい。

委員) 授業で使っていた個人端末は生徒負担か？

校長) 全生徒に府が貸与している。ただし、Chromebook なので、使いにくい部分もあるが。

委員) 柴島高校は最初に携帯持ち込み OK にした学校と聞いているが。

事務局) 持ち込みではなく、最初に授業で使い始めた学校だと思われる。自分で情報を集めたり学んだりすることは大切だ。

校長) 着任したとき、「え、スマホ使用？大丈夫か？」と思ったが、生徒はしっかり取り組んでいる。

事務局) Chromebook の画面が小さいため、スマホで閲覧して Chromebook で打込むなど、スマホと 2 台持ちにしている生徒もいる。

委員) 必修科目と選択科目とでは、生徒のモチベーションが違うのではないか？

事務局) 特に 5 教科は指導要領準拠になっている。生徒に考えさせる時間をとろうと思えば、学習範囲を狭めなければならない。理想と現実とのジレンマの中でやっている。

委員) そこは中学校も同様で、指導要領に則ってやっている。

校長) 高校も観点別評価を行う中で、知識・技能だけではなく思考・判断や主体性をはかることで授業内容の工夫にはつながっていると思う。今後は必修科目の見学も検討したい。

○その他

委員) 50周年記念式典は素晴らしかった。人権をしっかりとした柱として打出していた。

7 第3回学校運営協議会について

2月3日(月) 15:00~16:30 で開催予定